

V 健康増進課

1 感染症対策

- (1) 感染症患者発生数等
- (2) 結核対策
 - ① 定期健康診断実施状況
 - ② 結核患者・家族指導
 - ③ 接触者健康診断実施状況
 - ④ 結核登録患者状況
 - ⑤ 結核医療事業
 - ⑥ 結核健康診断補助金
 - ⑦ 結核対策特別促進事業
- (3) 感染症発生動向調査事業
 - ① インフルエンザ施設別（学校等における集団かぜ）発生状況動向調査
 - ② 三重県感染症発生動向調査事業
 - ③ 三重県感染症発生動向調査事業病原体検査
- (4) 特定感染症検査事業
- (5) 世界エイズデー三重街頭キャンペーン
- (6) 新型インフルエンザ対策
- (7) 肝炎治療特別推進事業

2 難病対策

- (1) 難病在宅ケア事業
- (2) 特定疾患医療

3 原子爆弾被爆者健康管理

- (1) 市町別原子爆弾被爆者手帳所持者及び各種手当受給状況
- (2) 原子爆弾被爆者定期健診状況

4 健康づくりの推進

- (1) 健康づくり活動の推進
 - ① 松阪地区地域・職域連携推進懇話会
 - ② ヘルピー協働隊の集い
 - ③ ヘルピーおでかけ隊
 - ④ 学びすこやか塾
 - ⑤ ヘルピー協働隊通信（メルマガ）
- (2) 健康食育推進事業
 - ① 幼児欠食ゼロ推進事業
 - ② 食事バランスガイド協働啓発事業
 - ③ 給食施設強化事業
 - ④ 人材育成・支援事業（地区組織育成支援）
 - ⑤ 人材育成・支援事業（市町栄養士支援）
 - ⑥ 栄養指導実施状況
- (3) 栄養施行事務
 - ① 虚偽誇大広告等栄養表示相談・指導状況

1 感染症対策

平成11年4月1日より感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律が施行された。この法に基づき感染症に関する情報の収集、整理、分析及び提供、病原体等の検査能力の向上を図ると共に、感染症の患者等の人権を尊重しつつ、これら患者の収容及び二次感染の防止のため保菌者検索並びに接触者指導等を行う。

(1) 感染症患者発生数等

二類(平成22年中)	新登録患者数 (潜在性結核感染症患者4人含む)	年末現在結核登録者総数 (潜在性結核感染症患者3人含む)
結核	42	75

三類(平成22年中)		患者数	保菌者数	計
腸管出血性 大腸菌感染症	管内	17	9	26
	三重県※	84	78	162

※2010年6月の0-157集団食中毒における感染者189人(患者:103人、保菌者:86人)を除く

(2) 結核対策

結核登録患者は減少しているものの、平成22年の年間新登録患者は42名で、一般住民はもとより医療関係者等への啓発に努め、学校、職場等での集団発生を防止し、結核患者の早期治療の徹底を図る。

① 定期健康診断実施状況(平成22年度)

一般住民はもとより医療関係者等への啓発に努め、学校、職場等での集団発生を防止し、結核患者の早期治療の徹底を図る。

	BCG	間接撮影	直接撮影	喀痰検査	発病のおそれ有り	結核患者
事業者	0	2,140	6,296	0	0	0
学校長	0	1,827	80	0	0	0
施設の長	0	528	841	0	0	0
一般住民	1,914	3,030	8,528	0	0	0

② 結核患者・家族指導(平成22年度)

結核患者が適切な医療を受け、確実に治癒することを支援すること、及び家族や接触者の感染・発病の早期発見のための接触者健診等の指導を行う。

種別	延件数
家庭訪問	142
所内面接	25
電話相談	236

③ 接触者健康診断実施状況（平成22年度）

結核患者家族及び管理・定期外の検診を実施し、結核患者の早期発見に努める。

区分	検診通知	受診数	X線直接撮影	QFT	ツ反応検査	BCG	喀痰	発見患者数	要注意者数
患者家族	110	110	107	25	3	0	0	1	2
接触者	232	232	173	182	0	0	0	11	0
管理検診	0	6	6	0	0	0	0	0	0
合計	342	348	286	207	3	0	0	12	2

④ 結核登録患者状況（平成22年中）

	22年末現在登録者数	活動性全結核患者数	有病率	新登録数	罹患率
松阪市	51	21	12.5	25	14.9
多気町	8	3	19.4	7	45.3
明和町	10	3	13.1	4	17.5
大台町	3	2	19.2	2	19.2
管内計	72	29	13.4	38	17.5
三重県	628	240	12.9	293	15.8

* 有病率：年末活動性結核患者数÷人口×10万

* 罹患率：人口10万人あたりの新登録結核患者数

⑤ 結核医療事業

感染症診査会を開催し申請された医療の適正に努める。

感染症法第37条の2関係（平成22年度）

区分	被用者保険		国保	後期高齢者	生保	その他	合計
	本人	家族					
申請	11	4	6	38	3	0	62
合格	11	4	6	38	3	0	62
承認	11	4	6	38	3	0	62

感染症法第37条関係（平成22年中）

平成21年 12月末現在	新規数	解除数	平成22年 12月末現在
3	21	22	2

⑥ 結核健康診断補助金

結核患者の早期発見と患者発生防止を図るため、学校、又は施設の長が行う定期の健康診断に要する費用の一部を補助金として交付する事で、設置者の負担を軽減し、定期健康診断の実施を促進する。

	学校長		社会福祉施設	合計
	専門学校	高校		
施設数	2	1	19	22
検診人員	79	539	918	1,536

⑦ 結核対策特別促進事業

結核治療連絡会議を開催するとともに、治療脱落例・治療失敗例をなくすため、直接服薬確認（DOTS）事業を推進した。

- ・9回の結核治療連絡会議を開催。
- ・管内結核医療機関とDOTSカンファレンスを開催し、延べ31名の検討を行う。

(3) 感染症発生動向調査事業

① インフルエンザ施設別（学校等における集団かぜ）発生状況動向調査

インフルエンザ流行時の小中学校での患者発生情報、各機関との連携措置、予防接種との関係等予防対策を図る。

インフルエンザによる休校（園）・学年閉鎖・学級閉鎖件数

	休校（園）	学年閉鎖	学級閉鎖
松阪市	0	46	72
多気町	0	9	3
明和町	0	3	1
大台町	0	4	0
合計	0	62	76

② 三重県感染症発生動向調査事業

感染症の予防、まん延を防止することを目的に、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくこの調査を実施することで、感染症の発生情報の正確な把握と分析をし、その結果を県民や医療機関への確かな情報提供・公開を行う。

感染症サーベイランス定点医療機関（管内）

16 定点：小児科5、眼科1、インフルエンザ8、STD1、基幹1

③ 三重県感染症発生動向調査事業病原体検査

三重県感染症発生動向調査事業の一環として、病原体検査定点医療機関等から病原体の検査依頼があった場合、保健環境研究所にて検査を実施することで、流行状況の早期発見、早期治療に資するとともに、疾病の予防や診断等に役立つ情報を提供・公開を行う。

病原体検査数と内訳

区 分	件数	結果（陰性）	結果（陽性）
麻疹	1	1	0
急性脳炎・水痘	1	0	1
日本紅斑熱・ツツガムシ病等	3	3	0
計	5	4	1

(4) 特定感染症検査事業

特定感染症（H I V感染症・性感染症・B型肝炎・C型肝炎）の相談・検査を実施することにより県民の健康不安を解消し、もって特定感染症の蔓延を防止することを目的とする。

区分	H I V			肝 炎			
	来所相談	電話相談	検査	来所相談	電話相談	検査 (B型肝炎)	検査 (C型肝炎)
件数	75	66	72	167	87	76	78

(5) 世界エイズデー三重街頭キャンペーン

「世界エイズデー」に際し、エイズの現状を正しく認識し、住民に対する正しい知識の普及・啓発を図る。(街頭キャンペーン)

実施年月日 : 平成22年11月30日

実施場所 : 松阪駅構内

(6) 新型インフルエンザ対策

新型インフルエンザ（H1N1）の感染による死亡者や重傷者の発生をできる限り減らすこと及びそのために必要な医療を確保することを目的として関係機関と連携して対応できるよう、感染症危機管理ネットワーク会議等関係会議及び研修会の開催・出席をした。

ア 感染症危機管理ネットワーク会議 2回

イ 新型インフルエンザワクチン接種関係研修会 1回

ウ インフルエンザ相談件数 35件

エ 新型インフルエンザワクチン在庫量調査

対象：各医療機関及び社会福祉施設等 調査回数：2回

(7) 肝炎治療特別推進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成する。

管内対象者数（平成22年度末現在）：インターフェロン治療 37名

核酸アナログ製剤治療 45名

2 難病対策

(1) 難病在宅ケア事業

管内特定疾患患者の在宅ケアを支援するため、地域における保健・医療・福祉を包括した支援体制づくりをめざす。

① 個別ケアの必要なケースに対して地域社会資源の活用・連携をはかり、必要なサービスのコーディネートを行う。

ア 訪問指導 訪問件数 9件

イ 電話相談 相談件数 340件

ウ 特定疾患医療受給申請時等 面接件数 23件

② 在宅療養支援計画策定・評価事業

要支援患者に対し、個々の実態に応じて、在宅療養支援計画を作成し、適切なサービスの提供と評価を行い、関係機関等と相互に連携し、支援体制の整備を図る。

《平成 22 年度：災害時の支援体制の整備》

難病患者支援連絡会議の実施

管内市町防災担当者及び保健福祉担当者と情報共有・支援体制の検討を行う。

③ 医療相談事業

神経難病患者家族を対象に、リハビリテーションについての医療相談会を実施した。

講師：藤田保健衛生大学教授 太田 喜久夫氏
 松阪中央総合病院理学療法士 辻 聡浩氏
 〃 作業療法士 田中 一彦氏
 参加者数：患者家族 49名 関係者 4名

(2) 特定疾患医療

難病は治療が極めて困難で長期の療養を要し、治療費も高額なため特定な 56 疾患を指定し、患者の自己負担を軽減し治療の促進を図る。

番号	疾 病 名	松阪	多気	明和	大台	合計
1	ベーチェット病	17	1	2	2	22
2	多発性硬化症	18	1			19
3	重症筋無力症	15	3	2	3	23
4	全身性エリテマトーデス	71	8	12	4	95
5	スモン	2				2
6	再生不良性貧血	16	3	5	1	25
7	サルコイドーシス	27	4	4	1	36
8	筋萎縮性側索硬化症	10		4		14
9	強皮症・皮膚筋炎又は多発性筋炎	78	5	7	6	96
10	特発性血小板減少性紫斑病	53	3	5	3	64
11	結節性動脈周囲炎	10	1	3	1	15
12	潰瘍性大腸炎	158	16	29	9	212
13	大動脈炎症候群	6	1		1	8
14	ビュルガー病	4		1	2	7
15	天疱瘡	4	4			8
16	脊髄小脳変性症	27	3	5	2	37
17	クローン病	32	2	7	3	44
18	難治性のうち激症肝炎					
19	悪性関節リウマチ	11				11
20	パーキンソン病関連疾患	170	19	24	12	225
21	アミロイドーシス	3		1		4
22	後縦靭帯骨化症	65	14	10	3	92

23	ハンチントン舞踏病	1				1
24	もやもや病（ウイリス動脈輪閉塞症）	6		3	2	11
25	ウェゲナー肉芽腫			1	1	2
26	特発性拡張型（うっ血）心筋症	51	8	12	8	79
27	多系統萎縮症	13			1	14
28	表皮水疱症					
29	膿疱性乾癬	2		1	1	4
30	広範脊柱管狭窄症	8		1		9
31	原発性胆汁性肝硬変	38	6	10	2	56
32	重症急性膵炎	3				3
33	特発性大腿骨頭壊死症	15	1	2	3	21
34	混合性結合組織病	10		3	2	15
35	原発性免疫不全症候群	2				2
36	特発性間質性肺炎	9				9
37	網膜色素変性症	24	3	5	3	35
38	プリオン病	2				2
39	原発性肺高血圧症		1			1
40	神経線維腫症	3				3
41	亜急性硬化性全脳炎					
42	バット・キアリ(Budd・ Chiari) 症候群					
43	慢性血栓性肺高血圧症	1				1
44	ライソゾーム病（ファブリー病含む）					
45	副腎白質ジストロフィー					
46	家族性高コレステロール血症（ホド接合体）					
47	脊髄性筋萎縮症					
48	球脊髄性筋萎縮症	1				1
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3				3
50	肥大型心筋症	5		4		9
51	拘束型心筋症					
52	ミトコンドリア病					
53	リンパ管筋腫症（LAM）					
54	重症多形滲出性紅斑（急性期）	1				1
55	黄色靱帯骨化症	1		1	1	3
56	間脳下垂体機能障害	8		1		9
	合計	1,004	107	165	77	1,353

3 原子爆弾被爆者健康管理

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律により、被爆者からの申請により被爆者健康手帳の交付を行う。健康手帳所持者には医療の給付、健康管理のための定期及び申請に基づく健康診断を実施し健康の保持について指導している。また、健康手帳所持者で

原子爆弾の傷害作用に起因する負傷または疾病の状態にある者、介護を受けている者に対し各種手当での支給を行っている。

(1) 市町別原子爆弾被爆者手帳所持者及び各種手当受給状況

(平成23年3月31日現在：人数)

区分 市町名	手帳 交付数	各種手当受給者数					
		医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当	家族介護 手当	介護手当 (重度)	葬祭料
松阪市	39	1	32			1	2
多気町	1		1				1
明和町	1		1				
大台町	3		3				
合計	44	1	37	0	0	1	3

・葬祭料については、平成22年度支払い件数

(2) 原子爆弾被爆者定期健診状況

(平成22年度実績：受診人数)

区分 市町名	定期健康診断				申請による健康診断					
	第1回		第2回		健康診断		がん検診			
	一般	肝機能	一般	肝機能	一般	肝機能	胃 (直接)	肺 (X線)	大腸	多発性 骨髄腫
松阪市	18	18	13	12			2	2	3	2
多気町	2	2	1	1						
明和町	1	1	1	1						
大台町	2	2	2	2						
合計	23	23	17	16			2	2	3	2

4 健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

- ・健康づくり・保健予防活動をヘルスプロモーションの視点から見直し、再構築し、新しく展開する。
- ・総合行政、地方分権、健康まちづくり、ユニバーサルデザインの視点からコミュニティエンパワメントを高める。
- ・特に、市町、職域、学校分野、福祉分野、NPOなどとのネットワークを重視し、協働して健康環境の確立を目指す。
- ・健康情報の共有だけでなく、安全・安心の食生活、ケアコーディネーション、セルフヘルスケアシステムなどの確立を目指す。
- ・松阪保健福祉事務所では、ヘルシーピープルみえ・21の活動に賛同した企業・団体等の有志の集まりである「ヘルピー協働隊」の活動を通じ、地域における健康づくりを推進する。(現在参加団体数 66団体)

① 松阪地区地域・職域連携推進懇話会

地域と職域が連携し健康づくりを推進することを目的に実施した。

開催日	開催場所	内 容	委員数
H22. 7. 15	松阪庁舎 大会議室	特定健康診査、がん検診、健康づくりの推進について受診率の向上と行政・職域における健診の実情等、地域・職域・関係機関の三者が情報共有を行った。	23名

② ヘルピー協働隊の集い

各組織・団体同士の情報交換の場として実施した。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H23. 1. 28	松阪商工会議所 第1研修室	こころの健康づくり講演会 「笑いと健康」	39名

③ ヘルピーおでかけ隊

ヘルピー協働隊のメンバーがそれぞれの活動場面に出向き、それぞれの健康づくり活動を応援し合うことを目的として実施した。

開催日	イベント名	テーマ	協働先
H22. 6. 6	歯の健康まつり	生活習慣病予防・感染症予防等	松阪地区歯科医師会、松阪市
H22. 7. 3	シャープふれあいフェスティバル	生活習慣病予防・がん・HIV等	シャープ株式会社三重工場
H22. 7. 7	未成年者禁煙防止キャンペーン	未成年者喫煙防止	日本たばこ産業、松阪警察、たばこ販売業組合等ボランティア
H22. 8. 21	パナソニック 夏祭り	生活習慣病予防・がん・HIV等	パナソニックエレクトロニクスデバイス株式会社
H22. 9. 12	松阪市健康フェスティバル	生活習慣病予防・自殺予防・感染症予防等	松阪市
H22. 10. 7	コープみえ商品・くらしの活動交流会	特定健診・特定保健指導・がん・生活習慣病予防等	生協コープみえ、
H22. 10. 17	いっしょに遊ぼう子育てフェスタ in 松阪	栄養・がん	三重中京大学短期大学部、松阪子どもNPOセンター、地域活動栄養士連絡協議会松阪支部、三重農政事務所 等
H22. 11. 10	未成年者喫煙防止キャンペーン	未成年者喫煙防止	日本たばこ産業、松阪警察、たばこ販売業組合等ボランティア

④ 学びすこやか塾

地域での健康づくり活動を推進する人材を育成することを目的として実施した。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H22. 10. 20	松阪庁舎 大会議室	テーマ 「健康づくりのための運動 ～スロートレーニング～」	21名

⑤ ヘルピー協働隊通信（メルマガ）

健康に関する最新情報を年12回発信した。

(2) 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成に向けて、食事バランスガイドに対する理解や「食事バランスガイド」を活用した取り組みをはかり、多様な主体と協働した食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進する。

① 幼児欠食ゼロ推進事業

食育に携わっている人に対しセミナーを開催し、食育実施者が朝食欠食予防を含めた食育活動を推進することを支援した。

ア 研修会（2回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H22. 10. 26	明和町 中央公民館	食育について	11名
H22. 12. 9	松阪庁舎 栄養指導室	「朝ごはんを食べよう」	20名

イ 会議（2回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H22. 10. 22	松阪庁舎 衛生教育室	食育アンケートの検討について	17名
H23. 2. 15	松阪庁舎 衛生教育室	食育アンケートの結果について	16名

② 食事バランスガイド協働啓発事業

企業、施設、団体、学校、市町など多様な主体とともに、栄養バランスのとれた食事、すなわちエネルギーの摂りすぎ防止、栄養の偏り防止を普及啓発した。

ア ネットワーク会議（2回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H22. 10. 4	松阪庁舎 衛生教育室	嚥下食について 健康食品やサプリメントの活用について	11名
H22. 12. 10	松阪庁舎 衛生教育室	嚥下食について 研修会内容についての検討	11名

イ リーダー研修会（6回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H22. 10. 26	明和町 中央公民館	食事バランスガイドの活用について	11名
H22. 11. 1 11. 2 11. 16 11. 17	松阪庁舎 大会議室	食事バランスガイドの活用について	309名
H23. 2. 24	松阪庁舎 大会議室	講演「サプリメントと代謝について」	60名

ウ 普及啓発、健康教育（11回）

開催日	開催場所	内 容	対象者数
H22. 6. 6	松阪子ども支援 研究センター	歯の健康まつり	500名
H22. 7. 3	シャープ株式会 社三重工場	シャープふれあいフェスティバル	500名
H22. 8. 21	パナソニック エレクトロニ ックデバイス 株式会社	パナソニック夏祭り	200名
H22. 9. 12	松阪市民会館	健康フェスティバル	500名
H22. 9. 14	東邦ガス	保育サポーター養成講座	23名
H22. 10. 7	華王殿	生協・商品くらしの活動交流会	300名
H22. 10. 16	三重中京大学	いっしょに遊ぼう子育てフェスタin松阪	255名
H22. 8. 23 9. 24 12. 22 H23. 2. 18	シャープ株式会 社三重工場	生活習慣病改善研修会	133名

③ 給食施設強化事業

ア 給食施設巡回指導

	管内給食施設数	指導数
① 知事指定施設	6	6
② ①以外の特定給食施設 (※学校再掲)	92 (38)	19 (0)
③ 一般給食施設 (※学校再掲)	80 (23)	26 (0)
計	178 (61)	51 (0)

イ 給食施設従事者研修会

給食施設従事者の資質向上を図ることを目的に実施した。

開催日	開催場所	内 容	出席者
H22. 8. 20	三重中京大学短期大学部調理室	テーマ <食物アレルギー対応のおやつづくり>	58名

ウ 喫食者指導

給食施設の職員管理部門との連携により、働く世代への健康教育を実施した。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H22. 11. 12 H23. 1. 2	シャープ株式会社三重工場	1健康教育 テーマ<生活習慣病予防のための食生活> 2給食委員会への出席及び助言	133名

④ 人材育成・支援事業（地区組織育成支援）

ア 研修会支援

回数	延会員数
3回	59名

イ 理事会への助言

回数	延会員数
11回	66名

⑤ 人材育成・支援事業（市町栄養士支援）

市町栄養士の資質向上と栄養改善施策の充実を目指し、必要に応じて助言・指導を実施した。

連絡調整会議

回数	延参加者数
7回	44名

⑥ 栄養指導実施状況

	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上
個別指導(延人員)	0	1	0	3
集団指導(延人員)	0	0	0	133

(3) 栄養施行事務

① 虚偽誇大広告等栄養表示相談・指導状況

	発見経路				
	住民	事業者	他グループ	他県	その他
相談・指導件数	0	6	5	1	1